

Society 5.0の実現加速のための スマートシティの推進



平成30年12月14日

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）平井卓也

スマートシティ：世界の動向 / 日本の動向

世界の動向

スマートシティの進化

- 個別ICT技術の実証から、都市の丸ごとのアーキテクチャの提示、新しいビジネス・サービス・価値の創出へ

スマートシティ間の国際競争

- 様々な事業主体・運営方法の並立・競争

都市	主アクター	内容
アムステルダム	自治体	CO2削減を目指し環境・エネルギー、健康医療、インフラ等の分野で試験事業
シンガポール	国家	国土全体を3Dモデル化し情報をリンク
トロント	Google関連会社	都市各所のセンサーで情報を常時収集し、都市設計に反映

- コンセプト、データ等について各地で連携の動き

イニシアティブ	概要
FIWARE グローバル・サミット	スマートIoTおよびオープンデータの実装課題について意見交換
Smart Cities New York	フィジカル・デジタルインフラ、健康、教育、モビリティ等について意見交換
Marketplace.city	オープン化により各都市の情報やソリューションを共有
中国・雄安新区	世界各国とMOUを結び最先端技術を取り入れ
日ASEANイノベーション連携	「ASEANスマートシティネットワーク」を提唱
アジア・スマートシティ会議	スマートな都市開発に向けた情報のハブ構築

日本の動向

政府各本部・省庁が、所管分野を中心に個別にモデル事業等を実施

本部・省庁	主な取組
CSTI	SIPによる研究開発、東京五輪での発信
未来投資	成長戦略(スマートシティ)
地方創生	スーパーシティ構想
総務省	モデル事業(ICTを活用した分野横断の街づくり)
経産省	モデル事業(ITや蓄電池の技術を活用した分散型エネルギー管理)
国交省	モデル事業(先進技術で市民生活・都市活動や都市インフラの管理・活用を高度・効率化)

産業界から、国際潮流を踏まえた新提言

- COCN：「デジタルスマートシティ」プロジェクト
- 経団連：「Society5.0アクションプラン」

今後の取組

- Ⅰ Society 5.0の実現を加速するため、スマートシティの実装を重要な出口として、**関係本部・省庁が連携**し、取組を加速する。
- Ⅰ 特に以下の3点について、連携した取組が重要。

1. **全体アーキテクチャの設計**

- 都市の計画・開発・管理運営(フィジカル)とデータ利活用(サイバー)の融合
- 相互接続性・拡張性・更新可能性
- 持続的に運用可能な枠組 (維持管理体制の収益事業化等)
- データの適正管理 等

2. **Society 5.0**(新しい社会・価値・ソリューション)の**可視化** (ex.五輪、万博・・・)

3. **国際化への対応**

- スマートシティのフレームワーク、指標等の**国際標準化に対応**
- **個人情報保護・セキュリティ**等について、国際的な潮流を踏まえつつ高水準を確保 等

Society5.0実現の加速 推進体制

タスク・フォースの設置

Society5.0実現加速（スマートシティ・タスクフォース）：

- 1 統合イノベーション戦略推進会議及びイノベーション政策強化推進チームにおいてスマートシティの取組を推進。特に重要なアーキテクチャ構築やデータ標準化等について議論するため、関係本部・府省によるタスクフォースを設置。
- 1 スーパーシティ構想については、国家戦略特区会議において、抜本的な制度改革も含めた全般的な設計・運営を担う。このうち、実装すべき技術やインフラ整備に関して、Society5.0実現加速TFでの検討を踏まえ、イノベーション推進会議が支援する。

スケジュール（スマートシティ関連）

- 1 12月14日 推進会議：スマートシティ実装の議論を開始
- 1 12～2月 タスクフォースにおいて、スマートシティの基本原則（共通アーキテクチャ、データ連携のあり方等）を整理
- 1 2～3月 推進会議：スマートシティに関する政府施策の方向性を打出し
- 1 6月 G20、B20において日本の取組を発信

スケジュール（スーパーシティ関連）

- 1 12月17日 国家戦略特別区域諮問会議
 - 1 1月 懇談会最終報告
 - 1 春 制度全体の整備
 - 1 夏以降 エリア公募、選定
- 各エリアでの開発計画策定、インフラ等の整備、運営

